# 19 いろいろな疑問文・仮定法の基礎

## ポイント1

1 疑問文には、Yes／Noで答える疑問文、orを使ってどちらかを選ばせる疑問文（選択疑問文）、疑問詞で始まる疑問文があります。

2 疑問詞には、次のようなものがあります。
- **When** did you come to Tokyo?（あなたは**いつ**、東京に来ましたか）
- **Where** did he go yesterday?（彼は昨日、**どこに**行きましたか）
- **Who** is standing on the chair?（**だれが**いすの上に立っていますか）
- **What** did Ken do yesterday?（健は昨日、**何を**しましたか）
- **Why** do they study math?（彼らは**なぜ**数学を勉強するのですか）
- **How** does Kumi go to school?（久美は**どのようにして**学校へ行きますか）

3 疑問詞で始まる疑問文が、もう1つの文の中に入るとき、疑問文の語順が**〈疑問詞＋主語＋動詞〉**になります。このような疑問文を**間接疑問文**といいます。
- I don't know **what it is**.（私は**それが何か**を知りません）
- Does Ken know **where she lives**?（健は**彼女がどこに住んでいるのか**知っていますか）

**チェック1** (1)～(4)は下線部を日本語になおし、日本語訳を完成させましょう。(5)は＿＿＿＿に適当な語を書きましょう

(1) What is he doing? 彼は［　　］しているところですか。

(2) Where does Ken live? 健は［　　］住んでいますか。

(3) How many cups do you have? あなたはカップを［　　］持っていますか。

(4) Why did you visit Kyoto? あなたは［　　］京都を訪ねたのですか。

(5) Please tell me ＿＿＿＿＿＿＿＿ Ken is.（健がどこにいるか教えてください）

## ポイント2

「もし～だったらなあ」などと現実とは異なることを仮定して表現するには、**仮定法**を用います。現在のことでも動詞の形が過去になることに注意しましょう。
- I wish I **were** a bird.（私が鳥だったらなあ）
- If I **had** wings, I **could** fly in the sky.（私に翼があれば空を飛べたのになあ）

**チェック2** 日本語訳を参考に（　　）内の語を適当な形に変えましょう。

(1) I wish I (can:　　) play the trumpet.（私にトランペットが吹けたらなあ）

(2) If I (be:　　) you, I wouldn't do such a thing.
（もし私があなただったら、そんなことはしないでしょう）